

特定非営利活動法人日本火山学会 平成 29 年度臨時総会議事録

開催日時および開催場所

2017 年 9 月 22 日 16 時 00 分～16 時 08 分

熊本県熊本市 熊本大学工学部百周年記念館

初めに出席数及び委任状提出数が報告された。維持会員数 298 名，うち会場出席者 63 名，委任状提出者 57 名で，合計 120 名となり定足数（100 名）を超えたため本総会は成立している旨報告された。これを受けて，会長が開会を宣言した。

議案 1

名誉会員の推薦

理事会より、日本火山学会運営細則第 5 条に基づき、渡辺秀文会員、藤井敏嗣会員、石原和弘会員を名誉会員に推薦することが提案され、承認された。

以上，この議事録が正確であることを証します。2017 年 11 月 17 日

日本火山学会長 井口正人

議事録署名人 篠原宏志・山里 平

資料 1

各名誉会員推薦文

○渡辺秀文会員 日本火山学会名誉会員推薦文

渡辺秀文先生は 1977 年に東京大学にて学位取得後、有珠火山観測所および伊豆大島観測所に赴任され、有珠山噴火及び伊豆大島噴火時には観測研究の中心的な役割を果たされました。その後、東京大学地震研究所にて火山噴火予知研究と後進の育成にあたりつつ、学会活動でもご活躍を続け、2004 年から 2006 年には日本火山学会長として学会を牽引されました。火山観測研究および火山学会に対して特段の貢献をなされた渡辺先生を火山学会名誉会員に推薦いたします。

推薦者 東京大学地震研究所 大湊隆雄

京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 三ヶ田均

気象研究所火山研究部 鬼澤真也

○藤井敏嗣会員 日本火山学会名誉会員推薦文

推薦理由

藤井敏嗣会員は 1975 年に東京大学にて学位取得後、東京大学理学部および東京大学地震研究所において実験岩石学を中心とする様々な手法を活用して地球内部におけるマグマダイナミクスの研究を推進されました。また、理学としての火山学のみならず火山防災の普及にも尽力され、1991 年から火山噴火予知連絡会に臨時委員、委員として参画、2003 年から 2017 年まで会長の重責を担われるとともに、2014 年の御嶽山噴火災害を受けた政府の火山防災対策の検討の取りまとめ役を担われ、火山防災協議会の設置の義務化をはじめとする我が国の火山防災対策の推進に大きく寄与する成果を挙げるなど、実践的な火山防災の実現に尽力されました。学会活動では、2006 年から 2008 年には日本火山学会長として学会を牽引されたほか、国際火山学・地球内部化学協会 (IAVCEI) 副会長、日本地球惑星科学連合固体地球科学セクションプレジデントを歴任されました。火山観測研究および火山学会に対して特段の貢献をなされた藤井会員を火山学会名誉会員に推薦いたします。

推薦者

東京大学地震研究所 中田節也

気象庁気象研究所 山里 平

東京大学地震研究所 安田敦

東京大学地震研究所 金子隆之

山梨県富士山科学研究所 吉本充宏

○石原和弘会員 日本火山学会名誉会員推薦文

石原和弘先生は、測地学的観測に基づくマグマ供給系の研究、ブルカノ式噴火機構の研究、溶岩流のシミュレーションを用いた火山災害軽減に関する研究など先駆的研究を長年にわたり続けてこられました。また、日本火山学会会長ならびに原子力問題対応委員会委員長など歴任され本会の活動と発展に貢献をされました。さらに、2017年6月に火山噴火予知連絡会会長に就任されました。火山学および噴火予知研究の進展、ならびに火山防災に大きく貢献されました。これらの多大なる功績を踏まえ、日本火山学会名誉会員として推薦いたします。

推薦者：

山本圭吾・為栗 健・中道治久 京都大学防災研究所